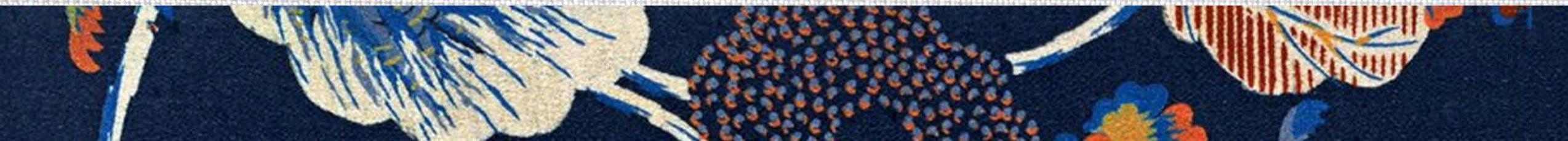




4

特殊な生活環境

ある者は高地に、ある者は海に住んでいる。





「雪の聖地・天の頂に生きる民族」 チベット族



「雪の聖地・天の頂に生きる民族」 チベット族

チベット族は中国および南アジアで最も古い民族の一つです。7世紀初頭に吐蕃（とばん）が政権を樹立して以来、吐蕃と唐朝との接触が次第に頻繁になりました。10世紀から16世紀にかけては、古代チベット文化が最も繁栄した時期です。1951年にはチベットが平和的に解放されました。

「チベット文字」とは、チベット族の文字を意味します。チベット文字はチベット族の人々の書面によるコミュニケーションの手段として用いられ、その歴史の長さは国内で漢字に次ぐものです。

སྤྱི་ལོ་ལྔ་པ་ལྷན་པོ་
ཚོགས་གཙང་ས། ཉིང་ལྷ་ལྷ་ས།
གཙང་ས་བཙེས་སྤྱི་ག་བ། ཉི་མ་སྤྱི་ལ་དཀར།
ཚོ་མ་སྤྱི་ས། བསྟན་དར།
འོ་ལ་དབྱངས་སྤྱི་ག་བཙོ་བ། ཉ་སི།

「雪の聖地・天の頂に生きる民族」 チベット族



カタ(ハダ)は、モンゴル族やチベット族の人々が儀礼用として用いる絹織物であり、社交活動に欠かせない品物です。敬意や祝福を表すための細長いスカーフやベールで、白や青が一般的ですが、黄色などもあります。さらに、「五色のカタ」と呼ばれるものもあり、その色は青、白、黄、緑、赤です。

青は青空、白は白い雲、緑は川の水、赤は空間の守護神、黄色は大地を象徴します。カタは、チベット族のあらゆる階層の人々が交流の際に最も広く用いる贈り物です。

チベット文化が広まっている地域では、ネパールやブータン、ロシアのブリヤートなどにもこの風習が見られます。



唯一の海の民族 京族



唯一の海の民族 京族



京族は、中国の55の少数民族の中でも人口が比較的少ない民族であり、主に広西チワン族自治区の防城港市に分布しています。

京族の祖先は、およそ16世紀初頭にベトナムの塗山などの地域から次第に中国へ移住してきました。京族の居住地域では漁業が主な産業で、漁業においては共同経営のような組織形態が存在していました。例えば山心村では、当時の収入のうち漁業が70%、農業が27%、その他が3%を占めていました。

改革開放以降、国境貿易と観光業が京族にとっての新たな二大基幹産業となりました。京族は国境を越えて広がる民族であり、ベトナムの主体民族であるキン族と共通の言語と伝統文化を持っています。このような地理的優位性を活かし、京族は国境貿易の発展に力を注いでいます。

唯一の海の民族 京族

京族には漁業生活に関わるさまざまな禁忌も存在します。例えば、漁師の家を訪ねた際には、「ご飯が焦げた」などと言ってはいけません。「焦げる(焦)」は「暗礁(礁)」と同音であり、縁起が悪いとされています。漁師にとって暗礁に乗り上げることは最も恐れることの一つです。

また、船の上では「油(あぶら)」という言葉を使ってはいけません。その代わりに「滑水(かつすい)」と呼びます。「滑」には「順調」や「円滑」といった良い意味がある一方で、「油」は「泳ぐ(游)」と同音であり、船が壊れて人が海に落ちてから泳ぐという不吉な連想を呼び起こすからです。

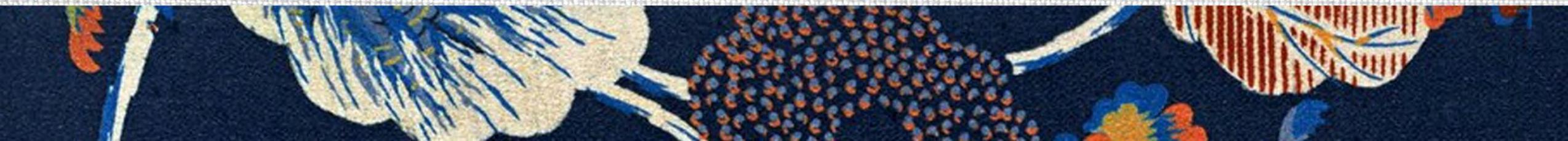




5

踊れや歌へ

「踊りと音楽で知られる民族」





最も難しい舞踊を持つ民族：朝鮮族



朝鮮族主に吉林省、黒龍江省、遼寧省の東北三省に分布しています。特に、図們江、鴨緑江、牡丹江、松花江、そして遼河、渾河などの流域に集中して居住しています。

朝鮮族が最も多く集まっている地域は、吉林省延辺朝鮮族自治州であり、これは吉林省の東部に位置し、中国・ロシア・北朝鮮の三国の国境が接する地域にあります。

朝鮮舞踊は朝鮮族の民間舞踊であり、その精神や心の在り方は民間舞踊の中に表現されています。朝鮮族の民間舞踊は、朝鮮族の伝統文化を表現する舞踊形式の一つです。明代からすでにその歴史的記録が残されています。

最も難しい舞踊を持つ民族：朝鮮族



「柳手鶴歩(りゅうしゅ・かくほ)」

朝鮮族舞踊における代表的な動きで、柳のようにしなやかな手の動きと、鶴のように優雅で軽やかな歩き方を意味します。

鶴は朝鮮族にとって、善良・純粹・長寿の象徴とされています。こうした精神性は、長い年月をかけて芸術的に洗練され、舞踊の最も基本的な歩き方として昇華されました。

この柔軟で優雅に漂うような「鶴の歩み(鶴歩)」こそが、朝鮮族舞踊における洒脱で上品なスタイルを形づくる基盤であり、さまざまな舞踊の情景や世界観を生み出しています。



草原に響く牧歌が歴史を紡ぐ モンゴル族



モンゴル族は、東アジア地域に主に分布する伝統的な遊牧民族であり、中国の少数民族の一つであると同時に、モンゴル国の主体民族でもあります。さらに、ロシアをはじめとするユーラシア諸国にも分布しており、エヴェンキ族やトゥ族などは、時にモンゴル族の分派と見なされることもあります。

13世紀初頭、チンギス・ハーンを中心とするモンゴル部族がモンゴル高原の諸部族を統一し、新たな民族共同体が徐々に形成されました。

モンゴル族の人々は古くから草原に定住し、牧畜を主な生業としながら、「水と草を求めて移動する」遊牧生活を営んできました。このような生活様式は現代社会においては次第に弱まりつつありますが、それでもなお、モンゴル族の文化的象徴として大切にされています。

草原に響く牧歌が歴史を紡ぐ モンゴル族



馬頭琴（ばとうきん）は、モンゴル族の民間に伝わる弦楽器で、モンゴル語では「チョール（潮尔）」と呼ばれます。2本の弦を持つ擦弦楽器で、梯形の共鳴胴と、馬の頭の形に彫刻された棹（さお）を特徴とし、モンゴル族の人々に広く愛されています。

伝説によれば、ある牧人が亡くなった愛馬を偲び、その脚の骨を柱に、頭骨を胴に、尾の毛を弓の弦として用い、二弦の楽器を作りました。そして、馬の姿を模して馬の頭を彫刻し、棹の先端に飾ったことから「馬頭琴」と呼ばれるようになったと言われています。

馬頭琴は非常に長い歴史を持ち、唐・宋時代の擦弦楽器「奚琴（けいきん）」から発展したとされています。チンギス・ハーンの時代（1155年～1227年）にはすでに民間に広く伝わっていたとされています。



多声のハーモニー、中国にもある トン族



貴州省・広西壮族自治区・湖南省の比較的環境のいい山間部から河谷平野部にかけて居住し、とくに貴州省には侗族全人口の過半数の百四十万人近い侗族が住んでいて、近年は観光地としても注目されている。

歌はトン族の人々の社会生活において非常に崇高な地位を占めています。年長者は歌を教え、若者は歌い、子どもは歌を学び、歌い手(歌師)は歌を伝える——このように、代々歌が継承され、社会の風習として根づいてきました。

「大歌(タイガ)」はトン族音楽の精髓とされ、音楽的にはポリフォニー(複調構造)と表現技法が大きな特徴です。トン族の村々には伝統的な歌班(歌のグループ)や合唱隊が組織されており、祭りの際や歌隊の訪問・交流の場で「大歌」を交互に歌い、名声を競い合います。

歌班による演唱では、リードボーカルと合唱が組み合わせられ、高音部・低音部に分かれた多声部の構成が取られています。このような完成度の高い多声合唱は、中国で現存する民間合唱の中で最も完璧なものとされ、「天から授かった声(天籟の音)」と称賛されています。



銀の飾り

銀行がないから、お金を飾りにして保存



蝶から生まれた世界、それがミャオ族の物語



ミャオ族は古くからの歴史を持つ民族であり、世界各地に広く分布しています。主に中国の貴州省、湖南省、湖北省、四川省、雲南省、広西チワン族自治区、海南省などの地域に居住しているほか、東南アジアのラオス、ベトナム、タイなどの国や地域にも多く分布しています。

ミャオ族には、「蝶の母(バタフライ・マザー)」と呼ばれる創世神話が語り継がれています。伝説によれば、天地が混沌としていた頃、一匹の蝶が卵を産み、その卵から人間を含む万物が生まれたとされています。この蝶こそが生命の源であり、ミャオ族にとっての始祖なのです。

蝶から生まれた世界、それがミャオ族の物語

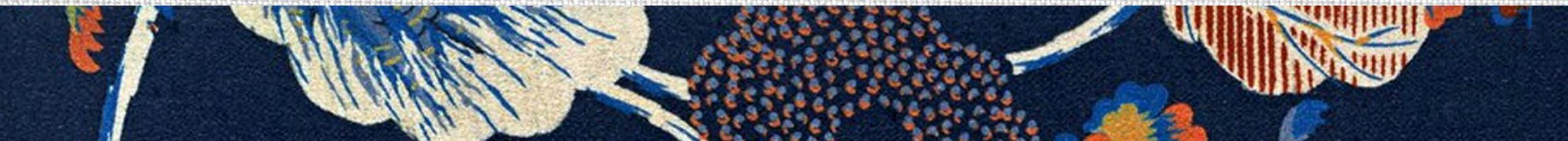




7

象形文字を使う母系制

字を書くつもりが絵を描いてる気分。でもその絵、似てないって言われたら困るよね。



トンパの古韻—ナシ族の千年のこだま



ミャンマー、ラオス、ベトナムと国境を接する雲南省の西北部から四川省西南部にかけての、海拔高度1000~2000mの山間丘陵部や壩子と呼ばれる山間低盆地に住んでいる。民族自治区域としては地級市である麗江市に所属する玉竜ナシ族自治県があるが、麗江市の中心部である古城区にも多く居住している。

トンパの古韻——ナシ族の千年のこだま



ナシ族のうち、とくにモソの社会は女性優位の母系制で、通い婚の伝統を持つ。家長は女性であり、あらゆる決定を女性が行う。それを表す一例として「祖母部屋」がある。モソ族の女性たちは一生を家族と共に過ごします。彼女たちは兄弟姉妹とともに、互いの子どもを協力して育てます。男性は姉妹の子どもを自分の子どもとして育て、実の子どもとの血縁関係を表に出すことには強い恥の意識を持っています。

家庭では財産や土地を共有し、個人所有という概念は基本的に存在しません。また、女性は自らの出産に関する決定権を持っており、このことがモソ族の人口を長年にわたって安定させてきました。彼らの人口は常に自然環境の許容範囲を超えることなく保たれてきたのです。モソ族の住む地域の自然環境は、千年もの間、彼らの生活を持続可能な形で支えてきました。そのため、彼らの社会には近代的な科学技術の発展は見られませんが、それは環境と調和した独自の生き方の証でもあります。

トンパの古韻——ナシ族の千年のこだま





他重要民族の一覧

今日は紹介できなかった重要な民族もいくつか



Үзсэнд баярлалаа

رههمهت كزگنلغىن گه

Doengz raemx raemx!

ལྷ་བ་བཀའ་ཁྲིན་ཆེ།

谢
谢
观
看

